

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

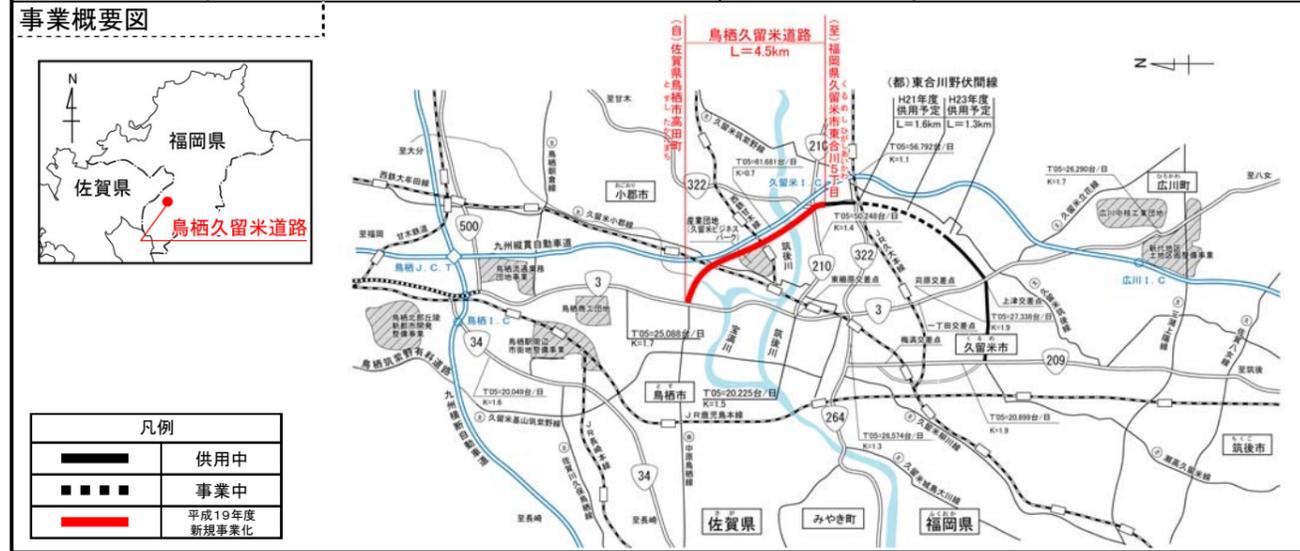
事業の概要

事業名	一般国道3号 鳥栖久留米道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：佐賀県鳥栖市高田町 至：福岡県久留米市東合川5丁目	延長	4.5 km		

**事業概要**  
一般国道3号は、九州の大動脈であり、北九州市門司区を起点に鳥栖市、久留米市等主要な都市を南北に縦断し、鹿児島市へ至る延長約400kmの幹線道路である。  
鳥栖久留米道路は、現在、福岡県及び久留米市により整備中である（都）東合川野伏間線と接続することにより、久留米市街地の東側環状道路を形成する道路であり、市街地内の交通混雑緩和や交通環境の改善、並びに開発計画の支援を目的とした延長4.5kmの4車線道路である。

**事業の目的、必要性**  
久留米市は、国道3号、209号等の国道および主要地方道等8つの軸による求心放射型道路網を構成しているが、各幹線道路が集中する市街地では交通混雑が恒常化している。特に国道3号にあっては、南北の本線交通と周辺市街地からの対都心交通とが交錯し、常時飽和状態を呈しており幹線機能を喪失している状況にある。  
本路線は、現在、福岡県及び久留米市により整備が進められている（都）東合川野伏間線と連絡し、市街地東部の半環状道路を形成することで、市街地における交通混雑の緩和や交通環境の改善、更には開発計画の支援を図るために整備を行うものである。

全体事業費	226億円	計画交通量	30,900台/日
-------	-------	-------	-----------



**関係する地方公共団体等の意見**  
一般国道3号改良促進期成会※（会長：久留米市長）より、国土交通本省、整備局に対し、毎年1回程度の整備促進の要望活動が行われている。  
※平成6年7月8日に国道3号沿線の自治体4市3町にて発足

**事業採択の前提条件**  
便益が費用を上回っている。  
円滑な事業執行の環境が整っている。（H19.3.23都市計画決定告示）

事業評価結果

費用対便益	全体事業費 B/C	3.8	総費用：193億円 （事業費：178億円 維持管理費：15億円）	総便益：744億円 （走行時間短縮便益：696億円 走行費用減少便益：36億円 交通事故減少便益：13億円）	基準年 平成18年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=3.5（交通量 -10%）	B/C=4.2（交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C=3.5（事業費 +10%）	B/C=4.2（事業費 -10%）		
	事業期間変動	B/C=3.6（事業期間 +20%）	B/C=4.0（事業期間 -20%）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	主要渋滞ポイントを解消する。 【渋滞損失時間の改善】 並行区間：約72.6万人時間/年 削減量：約39.5万人時間/年（約72.6万人時間/年⇒約33.1万人時間/年） 【1kmあたり渋滞損失時間】 並行区間：約10.7万人時間/km年 【その他の特徴】 主要渋滞ポイントである一丁田交差点の解消		
		事故対策	○	事故の減少が見込まれる。 【死傷事故率】 単路部：約274件/億台キロ（現況）[福岡県平均比：約5.0倍] 交差点：約812件/億台キロ（現況）[福岡県平均比：約7.1倍]		
	歩行空間	—	注目すべき影響はない。			
	社会全体への影響	住民生活	◎	地域間の走行サービスが向上：鳥栖市から久留米市間の通過時間19分→13分（6分短縮）		
		地域経済	◎	久留米市宮ノ陣地区の産業団地「久留米ビジネスパーク」と地域の主要幹線道路、及び久留米ICと連絡する道路である：当該地から久留米ICまでの所要時間15分⇒5分（10分短縮）		
		災害	—	注目すべき影響はない。		
環境		○	久留米市街地[人口約30万人]を通過する道路で、現況76dB（夜間）の騒音であり、当事業によって沿道環境が大幅に改善される：沿道76dB（夜間）⇒69dB（夜間）			
	地域社会	◎	産業団地内に建設予定である「日本赤十字社九州血液管理センター（仮称）」（H20業務開始予定）から九州各方面への輸送の効率化に寄与する：当該施設から久留米ICまでの所要時間15分⇒5分（10分短縮）			
事業実施環境	◎	・一般国道3号改良促進期成会から積極的な要望活動が行われており地元の期待も大きい。 ・H19.3.23都市計画決定告示				

採択の理由

費用対便益は、3.8と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件は確認できる。  
この道路整備により久留米市街地の環状道路が形成され、交通の効率的な誘導を行うことで、市街地道路網全般の交通混雑緩和、交通環境の改善、及び開発計画の支援が図られ、その整備効果は高いものと判断される。  
以上より本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。